

	1	2	3	4	5	6	7	8
施設名 指定管理者	長生園 社会福祉法人富士厚生会	救急医療センター 富士宮市救急医療協会	総合福祉会館 社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会	天子の森 天子の森運営協議会	袖野の里活性化施設 大鹿窪区	富士山天母の湯 株式会社ユアーズ静岡	新稲子川温泉ユー・トリオ 株式会社サンアメニティ	富士宮聖苑 ふじのみや斎苑管理グループ
利用状況 利用者数(前年度、対前年度比率) 利用料金(前年度、対前年度比率)	(令和7年3月31日現在) 入所者49人(男性26人、女性23人) 期間中の退所者11名、新規入所者11名 —	13,767人(13,878人 99.2%) 156,858,289円(160,423,203円 97.8%) ※診療報酬	96,422人(75,066人 128.4%) 3,626,400円(2,892,390円 125.4%)	(キャンプ&ハーベキュー) 4,194人(5,023人 83.5%) —	5,627人(4,937人 114.0%) —	64,207人(69,776人 92.0%) 入館料収入 24,026,212円 (25,606,045円 93.8%)	38,755人(36,289人 106.8%) 18,448,490円(18,184,900円 101.4%)	— —
苦情、要望 内容	1件 要望1件 (苦情・要望に対する早急な対応及び所管課への報告を依頼)	3件 苦情1件(接遇1件) 苦情2件 (継続的な苦情等の実態把握と適切な対応を指示)	3件 苦情1件(施設利用1件) その他2件(設備に関する指摘1件、利用者の利用方法に関する指摘1件) (苦情・要望に対し問題なく対応できている。)	なし (苦情・要望が発生した場合は、農業政策課に報告し、臨機応変に対応するよう指示)	なし (苦情等に対して丁寧な対応をすること、困難案件に関しては適宜市に相談することを指示)	1件 苦情1件(施設利用) (利用者への周知、苦情があった場合の早急・丁寧な対応を依頼)	16件 備品関係(ドライヤー・体重計) 設備関係(廊下漏水・和室畳) 等 清掃関係(枯葉・トイレ) その他 (苦情・要望に対し丁寧に、早急に対応していた。重要ケースについては速やかに報告するよう指示)	なし (苦情・要望が発生した場合は、環境企画課に報告し、臨機応変に対応するよう指示)
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	運営委員会、利用者全体会を月1回開催し、利用者の意見を聞きながらコミュニケーションを取り、運営の効率化と利用者の処遇向上を図った。 (意見や要望の把握に努め、トラブルの未然防止、入居者の処遇改善、円滑な運営に努めてほしい。)	意見箱で苦情要望を把握。内容を職員に周知。対応策を検討、実施。二次救急の早期受入体制確保のため市立病院、消防救急隊との連携強化を図った。 (要望等を把握し、今後の運営に生かすよう指示)	利用報告書確認、第三者委員会設置、利用者の意見収集、職員間での情報共有、苦情・要望の記録など (利用者からの要望把握に努めている)	予約時に要望を確認。静かなグループとにぎやかなグループを近づけないなどの対応をしている。 (引き続き利用者の要望把握に努めるよう指示)	利用団体連絡協議会の開催、利用報告書による把握 (引き続き協議会等により要望把握に努めるよう指示)	アンケートや口頭で要望を把握。速やかな対応と従業員の教育による顧客満足度アップに努めた。 (今後も利用者の意見や要望を聞き、サービス向上に努めるよう指示)	お客様アンケート、出口調査の実施 (親切な対応、利用者との対話により要望把握、トラブル防止に努めていた)	意見箱に寄せられた意見・要望に対応。利用者からの意見、要望、苦情等を記録するメモを携行。 火葬後の副葬品について、個別に1日間保管 (今後も迅速かつ適切な対応を指示)
事故、緊急事態 内容	5件 転倒4件、誤薬1件 (再発防止策を講じ、利用者に指導するよう指示)	なし	4件 事故3件(ホール床破損、ホール移動観覧席故障、通勤災害) 緊急事態1件(熱中症対応) (迅速かつ適切な対応がとれている。引き続き事故防止の適切な対応を指示)	4件 設備異常1件、怪我1件、緊急避難1件、事故1件 (迅速かつ的確な対応を指示)	1件 ガラスの破損 (事象に対し早急な対応ができています。引き続き臨機応変な対応を指示)	なし (今後も事故防止に努めるよう指示)	6件 盗難、体調不良等 (発生した事件・事故に、通報や連絡など適切に対応を行った。)	1件 霊柩車の脱輪事故 (安全運転、事故が発生した際の報告、臨機応変な対応を指示)
事故・緊急時対策	緊急連絡簿作成、身元保証人等の確定・変更の行政への依頼、協力病院との連絡調整、夜間非常招集訓練、近隣派出所への名簿提出等 (行政・医療機関等との協力体制の構築、維持に努めるよう指示)	職員連絡網作成、緊急出動の徹底(緊急時における利用者の安全確保及び市への報告を指示)	職員による状況確認、応急処置と必要に応じた救急車等の手配、家族への連絡と状況説明、館長への報告 (引き続き事故・緊急時の体制の維持を指示)	AED訓練などの実施 (継続的な訓練の実施を指示)	防災訓練を実施 (計画的な訓練の継続実施を指示)	人工呼吸・AEDの使用方法等の定期的な確認 (平常時の定期点検と緊急事態発生時の迅速かつ的確な対応を依頼)	事故・事件発生時の通報体制、市、法人内の連絡体制の確立 (発生した事件・事故に、通報や連絡など適切に対応できていた。)	職員の参集基準の明確化、配備指令の伝達手段確立 訓練の実施 (引き続き不測の事態に備えた定期的な訓練の実施を指示)
防犯対策、防災対策	夜間宿直、セキュリティシステムの整備 自主防災計画・地震防災計画を策定し、職員教育と訓練を毎月実施 (いつ発生しても慌てず対応できるように定期的な訓練の実施を指示)	警備会社との連携を密にし、防犯カメラ、防犯ヘルによる防犯体制を強化。災害時の医療救護体制の整備、火災等災害の予防、職員配備体制等の確認、防災訓練を実施	監視カメラでのチェック、警備会社による夜間警備、業者への緊急連絡網提出、職員巡回、消防設備保守点検、災害時対応マニュアルの確認、消防設備の動作確認の実施	警備会社が入っていることへの周知、防犯カメラの設置 (引き続き緊急事態に備えた訓練等の実施を指示)	地区社協と連携し、防災意識を高める取組(避難所運営ゲーム)を実施 (災害時の行動や連絡方法、ライフラインの確保等を想定した訓練実施を指示)	機械警備や地元交番への連絡体制の確認、防災訓練の実施 (今後も定期的な訓練や連絡体制の確認の実施を指示)	防犯カメラの設置、定時巡回、AED使用訓練、連絡訓練の実施 (盗難事件後、防犯カメラの設置や注意喚起の表示など早急に対応していた。)	責任者による巡回、警備会社による機械警備、緊急避難誘導体制の確立、器具等の転倒・転落防止等 (防災訓練での課題に対し実際に想定して再確認することを指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	外出・面会できないストレスを抱えた入所者の精神衛生保持に努める。 ふれあい祭り等の行事を実施 (感染症予防と入所者の精神ケアに努めること、積極的な自主事業の実施等を指示)	オンライン資格確認の推進、拡充 年末年始の対応強化、従事者の負担軽減のため、感染症対策を踏まえた受付・会計・投薬体制の見直しを実施 (制度改正等の情報収集による事前対応、年末年始への対応強化を意識した対応ができています)	照明器具の修繕等の実施、Instagramの開設、昼休憩時の電話、窓口の対応強化、授乳室開放 スマートフォン講座、体操教室、パン作り教室、書道教室、折り絵教室の実施 (実施する講座の種類、回数が増加。施設の目的に沿った自主事業を実施している)	キャンプグループのオフ会誘致、団体のBBQキャンプ誘致等 当観察会、ソロキャンプ割引(期間限定)、シイタケの菌打ち体験の実施 (引き続き施設の設置目的に沿った取組の発案、実行を指示)	大人のクラブ活動(果樹栽培、囲碁将棋等)の実施 七夕つつあん(子ども会、老人会と共同実施)、案山子祭り(袖野の里まつりと同時開催)を開催 (施設の設置目的である地域と都市住民との交流、農業生産活動の伝承等を意識した取組の発案、実行を指示)	モンベル社製オリジナルTシャツの販売、音楽の演奏会、野菜販売の実施 毎月イベントカレンダーを作成し、じゃんけん大会や宝探しゲーム等のイベントを開催 (メンバー会員へのアプローチやイベントによる誘客を積極的に行い、今後もサービス向上に努めるよう指示)	食堂における地元農産物使用メニュー開発 売店の地場産品の販売 地元酒造製造の機能性商品の導入 (新しい事業を企画し、サービス向上のために取り組んだ。)	業者用棚の設置による業者の利便性の向上 売店及び自動販売機の営業(利用者の要望に応じたメニュー改定、季節に応じた商品提供) (利用者の要望に合わせ、今後も利用者サービスを心がけるよう指示) 研修(個人情報保護、コンプライアンス、マナー)、責任者等による適時指導 (今後も就業規則や業務マニュアル等を書面で通知し、雇用形態を明確にするよう指示)
職員研修等	外部研修、法人内専門部会自主勉強会、虐待防止研修、感染症対策研修、食中毒等の内部研修	月1回の看護師ミーティングによる情報交換、オンラインによるトリアージ研修の受講		アウトドア安全講習会参加 (引き続き職員研修の実施を指示)	区役員会、定例区会で利用促進・サービス向上について共通理解を図った (引き続きの実施を指示)	接遇マナー研修、AED使用研修の実施 (職員の資質向上、良好な施設の管理運営に努めるよう依頼)		
障がい者、高齢者等への配慮	手帳交付手続き支援、高齢者の日常生活動作に応じた適切な配慮及び対応等	障がい者、高齢者へのいたわりを持った対応の徹底	手話通訳者の配置、点字表記・点訳、通路の障害物撤去、転倒防止策、車椅子配備、浴槽介護用椅子の配備等	対象者にとって利用しやすい場所を優先的に提供	駐車場から館内まで手すりを設置 (今後も注意を払いながら施設運営を指示)	スロー通路のタイル補修、車椅子の貸出し、大広間で補助椅子貸出し (きめ細かい配慮の継続を指示)	思いやり駐車場の配置 65歳以上、障害者手帳提示者への割引実施 (障がい者や高齢者も利用しやすいよう取組んでいた)	車椅子4台を常設・希望者への速やかな提供、取骨室に椅子を常設、待合ホールにパイプ椅子を常設
広報の実施状況	入所案内を入所希望者の体験入所時に配布、ホームページによる情報提供、施設見学者への説明	救急医療センターの概要発行、配布	ホームページでの案内、Instagram開設、小中学生福祉教育での施設見学対応、講座参加者への施設案内	ホームページ、ブログでの情報発信、タウン誌・キャンプ専門誌への掲載、SNS発信(Instagram、YouTube)	広報誌の設置、地元回覧での利用呼びかけ (引き続き広報活動に努めるよう指示)	イベントをテレビ・ラジオ・新聞社へ情報提供、メンバー会員に向けた告知 (今後も積極的な広報活動を行うよう指示)	地元コミュニティFM局へのアプローチ、企業防災パートナーへの参加 (ラジオエフを活用して効果的な広報を行った。)	必要と判断する場合は広報(張り紙・放送等)を行う。 (必要なものは正確かつ確実に広報するよう指示)
経費削減策	基本協定書、年度協定書に基づき、老人保護措置費支弁額の範囲内で請求及び精算処理を実施 (入所者の処遇を維持しつつ、経費削減に努めるよう指示)	昼間の照明・空調等の節電対応、保健センターと連携した施設・設備保守管理委託の節減、インターネットバンキングによる口座振込手数料の節減 (今後も管理方法を工夫するよう指示)	業務用休日高負荷電力契約、深夜割引の利用、非常照明器具のLED化等節電、紙の両面使用等 冷暖房切替時の圧縮機運転停止 (今後も経費節減に努めるよう指示)	まとめ買いによる節約、ソーラーライトによる節電 (今後も経費節減に努めるよう指示)	冷暖房の温度管理やエアコンフィルターの清掃 (引き続き節電を心掛けること、フィルター清掃を定期的に行うことを指示)	施設管理委託業者の見直しによる経費削減、仕入れ業者の見直しによる原価削減、相見積りによる納入価格交渉 (今後も可能な範囲で経費削減に努めるよう指示)	こまめなボイラー温度調整、ストレーナーの清掃強化、不要な電灯の消灯、修繕等の内製化 (可能な範囲で経費の削減に取り組んだ。)	運転計画、運転制御によるエネルギーの効率的な使用による施設の省エネルギーを推進 (節約節電に努め、光熱費の高騰の影響も小さく抑えられた。)

	9	10	11	12	13	14	15
施設名	市営墓地	都市公園	市民文化会館	富士宮市体育施設(芝川体育施設含む)	富士宮駅前交流センター	大富士交流センター	富丘交流センター
指定管理者	公益財団法人富士宮市振興公社	公益財団法人富士宮市振興公社	公益財団法人富士宮市振興公社グループ	富士宮市スポーツ協会・地域ステップアップサービスグループ	公益財団法人富士宮市振興公社	公益財団法人富士宮市振興公社	公益財団法人富士宮市振興公社
利用状況 利用者数(前年度、対前年度比率) 利用料金(前年度、対前年度比率)	— —	49,843人(46,788人 106.5%) 4,133,811円(3,980,570円 103.8%)	休館のため利用者数、利用料金収入なし 自主事業入場料収入(別会場で実施)277,600円	502,841人(453,723人 110.8%) 54,377,901円(54,258,503円 100.2%)	63,899人(44,451人 143.8%) 13,731,670円(10,705,400円 128.3%)	61,686人(43,577人 141.6%) 3,185,300円(1,876,050円 169.8%)	46,671人(36,569人 127.6%) 2,271,290円(1,289,210円 176.2%)
苦情、要望 内容	6件 苦情3件(職員対応1件、施設環境1件、設備1件) 要望3件(施設環境2件、設備1件) (利用者への対応・要望等について今後も迅速に対応するよう指示)	11件 苦情2件(施設利用1件、作業関係1件) 要望9件(施設環境9件) (速やかかつ適切に対応している。引き続き、指定管理者にて対応可能な要望は速やかに対応するよう依頼。)	なし (苦情・要望に対する迅速かつ適切な対応及び市への報告を指示)	25件 施設利用6件、設備・備品に関するもの15件、地域・市民他からの要望4件 (引き続き苦情・要望に対し市と連携しながら適切な対応を行うよう指示)	3件 苦情3件(施設利用1件、施設環境1件、その他1件)	2件 苦情1件(職員対応1件) 要望1件(施設環境1件)	なし
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	管理人及び清掃委託者からの連絡、業務日報、ホームページの意見欄意見箱から要望を把握 市民からの要望等に対し必ず結果報告 (今後も、誠意を持って速やかで正確な対応を指示)	管理人がいる5公園に意見箱を設置、ホームページから利用者の声の収集、作業時に来園者等から直接要望を伺い、対応可能なものから改善した。剪定の要望は担当課と協議した。トラブル発生後に原因究明を行い再発防止に努めた。要望に応え表示看板の設置・張替を実施した。	休館のため利用なし 電話対応、ホームページ内での意見欄の設置により、要望、意見を収集 (要望等については、内容を十分精査したうえで、迅速かつ的確な対応、報告等を依頼。)	意見箱の設置 施設巡回点検時に利用者から意見を伺う。ホームページでの意見把握 (今後も適切な対応を指示)	利用団体代表者会で施設利用方法の説明、運営協議会での意見交換、意見箱の設置、ホームページの意見欄設置、利用報告書の意見欄での把握、駐車場利用方法の丁寧な説明など (今後も利用者との意見交換や利用方法の丁寧な説明継続を依頼)	運営協議会の開催、意見箱の設置、ホームページの意見欄による把握、利用報告書の意見欄による把握、利用団体代表者会の開催など (使い勝手の良い施設になるよう、今後も利用者との意見交換や利用方法の丁寧な説明継続を依頼)	意見箱・ホームページの意見欄・利用報告書の意見欄設置、運営協議会での意見交換、利用団体代表者会での施設利用方法の再周知など (使い勝手の良い施設とするため、引き続き利用者の要望を把握するよう指示)
事故、緊急事態 内容	6件 緊急事態2件(車両事故) 被害4件(落木2件、桧石落下2件) (今後も迅速かつ適切な対応と事後報告を指示)	4件 被害2件(車止めポール破損、焚火)、事故1件(車両事故)、緊急事態1件(水道使用不可)	なし (緊急事態等に迅速な対応をとれるように日頃から備えるよう指示)	2件 怪我1件、使用料納付トラブル1件 (適切かつ迅速な対応を指示)	3件 事故1件(ソーラーパネルへの落下物) 緊急2件(市内で発生した強盗未遂事件を受けた注意喚起等) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)	5件 被害3件(ブラインド、フェンス等の破損) 緊急2件(市内で発生した強盗未遂事件を受けた施設内の見回り強化) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)	7件 事故1件(車両事故) 緊急6件(雨漏り、停電等) (引き続き有事の際の迅速かつ最善な対応を依頼)
事故・緊急時対策	対応マニュアルの周知徹底、体制整備、通報時の即時対応の徹底 (非常時及び緊急事態に備えた体制確認、訓練の実施を指示)	緊急時対応マニュアルに沿った体制整備 利用者からの通報には直ちに対応 事故・緊急時の内容により速やかに市担当課に連絡し協議を行う。 ドクターヘリ離着陸要請に対しての迅速対応 普通救命講習の定期的な再受講、消防訓練	6月までは文化会館の閉館時、7月以降は仮事務所の閉館時に警備会社の警備システムによる監視を実施 工事無い外の敷地及び駐輪場の監視を実施	緊急時の簡易対応マニュアルの掲示 熱中症対策(氷の提供) 救急箱、AED、医務室の定期点検 普通救命講習受講 (日頃から危機意識を持ち業務に従事するよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)
防犯対策、防災対策	清掃時の見回り、夜間照明灯の点灯確認(舞々木墓地) 開園・閉園時の見回り、閉園時進入路を閉鎖施設(朝霧霊園) 盆・彼岸の見回り強化、台風後の施設点検	定期巡回 植込みを調整し、見通しを確保 白尾山公園等へ災害救済ベンダー型自動販売機の設置継続	工事無いの外の敷地及び駐輪場の監視等 (今後の防犯、防災意識の継続を指示)	車上狙い防止のための巡回の実施、防犯カメラの録画、監視 防災訓練を年2回実施 甲種防火管理者8人体制 (継続した防犯・防災対策を指示)	ステッカー掲示、2階出入口閉鎖、防犯カメラ及び災害救援ベンダー自動販売機の設置、情報伝達訓練の実施、大雨時水止め板の設置等 (今後も防犯対策に努めるよう指示)	宮原交番との情報共有 防犯カメラ・災害救援ベンダー自動販売機設置、施設周辺ゴミ放置等注意喚起、消防訓練・情報伝達訓練実施等 (防災意識の向上、訓練の実施を指示)	西町交番との情報共有 防犯防災対策マニュアルに基づく対応、消防計画に基づく自主点検・消防訓練、情報伝達訓練等 (今後も防犯対策に努めるよう指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	バケツ、柄杓等の備品補充 盆、彼岸期にミニ塔婆・線香を販売、風防ライター無料貸出、墓地清掃代行サービス(朝霧霊園)、花壇に花苗を植栽 (利用者のサービス向上に繋がることは、今後も積極的に対応するよう指示)	外神東公園の花壇整備、市公式SNSによるイベント情報周知 愛犬との暮らし方教室、剪定木の無料配布、一部公園にてキッチンカー運用開始、アクティビティ体験型教室の計画 など (公園の魅力向上や賑わい創出に繋がる自主事業の検討、実施を依頼)	休館のため、新規事業はなし アウトリーチ事業(学校プログラム、どこでもコンサート、景勝地コンサート、宮の美術家展、宮の文化創造等) (利用者の意見・要望を精査し、引き続き各事業の充実を図るよう指示)	県ソフトボール場の管理体制・整備方法を改善、屋外プールの混雑緩和対策(前売券販売)、屋外プールの日御除けテント設置など 外部インストラクターによるテニス、サッカー教室、職員による教室の実施等 (引き続き利用者のニーズに対応した自主事業の充実を指示)	傘袋スタンドの設置、YouTubeにきららまつりの様子を投稿、印刷サービスの継続、市主催事業のチケットの配布、小規模授産所連合会によるパン等の販売コーナーの継続、大富士、富丘との合同事業「あての宮」開催など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)	市民文化会館アウトリーチ事業の会場提供、駅前、富丘との合同事業「あての宮」開催、幼児知育教室、親子料理教室、絵本の読み聞かせの実施など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)	クーリングジェルトナー実施の協力、市民文化会館アウトリーチ事業の会場提供、トイレにサンダーボックス設置、駅前、大富士との合同事業「あての宮」開催、親子講座、高齢者学級、印刷サービスの継続等 (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)
職員研修等	普通救命講習、刈払機取扱作業者技能講習受講済 (適切な人員配置・必要な研修の実施による職員の資質向上を指示)	有資格者及び講座修了者が各業務を担当した。(造園施工管理技士、公園管理運営士、職長・安全衛生責任者教育、刈払機取扱作業者、伐木等業務従事者特別教育、高所作業車運転技能講習)	各種公立文化施設協議会研修会等への参加 (職員研修について、引き続き充実を図るよう指示)	研修の受入れ、普通救命講習Ⅰ、安全管理講習会受講等 (引き続き業務に必要な資格取得や接遇研修の実施を指示)	ALWF市民活動支援センター会議への出席、先進施設の視察、外国人対応研修の受講 (研修等への積極的な参加を依頼)	初期消火訓練、非常時対応訓練実施(利用者へのサービス向上に向けた能力を職員が身に付ける研修への積極的な参加を指示)	消火訓練、避難訓練、通報訓練、先進施設の視察等 (利用者へのサービス向上に向けた研修への積極的な参加を指示)
障がい者、高齢者等への配慮	車椅子を1台配置(朝霧霊園) (継続的な配慮を指示)	障がい者用車両に対する乗り入れ許可、公園使用申請の簡便化、点検時の段差等確認・対応 (誰もが安全安心に利用できる公園づくりの継続を依頼)	仮事務所が2階にあるため、障がい者等の来所の際職員が1階に出向き対応 (今後も障がい者、高齢者などの目線に立ち、誰もが安全に安心して利用できるように心がけるよう指示)	障がい者用駐車場の少ないため混雑時に臨時駐車場開設、階段の付き添い、プールにシニア料金設定等 (今後もきめ細やかな配慮を指示)	障がい者用駐車場の周知、老眼鏡設置、車椅子の配備、高齢者への親切丁寧な説明 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車椅子の管理、老眼鏡設置、施設案内板の文字を大きく掲出、筆談対応体制の整備 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車いす設置・管理、老眼鏡設置、施設案内板の文字を大きく掲出、筆談対応体制の整備 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)
広報の実施状況	振興公社ホームページにサービス内容掲載、墓地清掃代行サービスのチラシ・ポスター配布 (継続した情報提供を指示)	位置図、自主事業等の報道提供、チラシ掲示、市公式SNSによるイベント情報発信 (今後もSNS等を活用した積極的な周知を行うよう指示)	ホームページ、SNSの利用、交流センター等の施設でアウトリーチ事業のチラシの配布、広報、地元紙へ掲載依頼 (アウトリーチ事業等の広報の充実を指示)	SNSでの情報発信、施設利用に関するチラシ・ポスターの設置、地元紙、フリーペーパーでのスポーツ教室日程等の掲載 (わかりやすく、最新の情報を随時更新するよう指示)	ホームページ、広報紙等を通じた各種講座、活動内容の周知、広報ふじのみや外国語版の市内商業施設への配布など (社会教育・国際交流・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・地元新聞社等への講座募集記事掲載・取材依頼、他の公共施設への自主事業の案内等 (社会教育・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・チラシ配布で講座受講募集、年間計画の周知、イベントの取材依頼等 (利用者、稼働率の増加につながるよう、様々な方法での広報活動を指示)
経費削減策	内部で対応可能な業務の外注廃止、広範囲の草刈りに乗用草刈り機使用で人件費削減、紙の両面使用、裏紙使用 (今後も支障のない範囲で努めるよう指示)	水道メーターのこまめな確認、職員による簡易な修繕・修理の実施、LED化による省電力化、乗用草刈り機の使用による人件費削減、燃料費購入方法の工夫により購入単価削減	仮事務所の適切な温度設定による高熱水費の削減、用紙裏面の再利用、使用済み封筒の再利用等による事務費削減 (今後も市に準じた取組を継続するよう指示)	照明点灯時間の調整による節電 職員による剪定や簡易修繕の実施 コピー紙等の管理徹底による経費削減 館内蛍光灯のLED化等 (今後も経費削減に努めるよう指示)	適切な温度設定、適切な照明の使用、裏紙使用を実施 水道・電気のメーターを定期的に確認 (利用者の理解を得ながら経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯で電気・ガス使用量削減、電力購入先の変更による電気料削減、裏紙使用、職員による簡易修繕の実施 (今後も利用者の理解を得ながら経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯による節電、職員による草刈り、簡易な修繕等の実施 (利用者からの理解を得ながら、引き続き経費削減に努めるよう指示)